

## 出生数に響かせるため 特に注力する！

### 視点①

✓子育てしながら働ける環境が重要

### 企業とのタイアップ！

#### 【現状・課題】

子育てと仕事の両立が難しい(女性に負担が偏っている、男性の育児参加が不十分)

#### 【施策の方向性】

男女ともに、安心して、子育てしながら働ける職場環境づくりを、企業と一緒に進める

#### 新働きやすい・安心して子育てできる職場づくり応援事業

- ・ 経営者等の意識醸成推進事業
- ・ 企業版子育て支援情報展開事業
- ・ 子育て応援宣言企業等取組推進事業

#### 新“男性育休が当たり前な社会へ”男性育児休業取得等促進事業

#### 新若者と企業リーダーとの交流事業

### 視点②

✓少子化のそもそものネックの解消

### 結婚の壁対策！

#### 【現状・課題】

子どもを持つ前の「結婚」がハードル  
未婚化・晩婚化の一方で、結婚を希望する人は多い

#### 【施策の方向性】

様々な手法やツールにより、出会い・結婚への関心を後押しし、希望が叶うよう支援を強化する

#### 拡おかやま出会い・結婚サポートセンター事業

#### 拡おかやま結婚応援・気運醸成プロジェクト事業

- ・ 応援アンバサダー
- ・ 企業等との連携
- ・ 戦略的広報

#### 新結婚応援パスポート事業



### 視点③

✓結婚・子育てに対する前向きな意識づくりが必要

### 空気感の醸成！

#### 【現状・課題】

若い世代の結婚・子育てへの関心や実感につながるような情報が少ない  
社会全体で応援する意識や環境が十分ではない

#### 【施策の方向性】

若い世代に直接情報を届け、前向きに考えられる機会を提供する  
社会全体の意識醸成・環境整備を進める

#### 新結婚、出産、子育て応援キャンペーン事業

- ・ こどもまんなかマナーアップ県民運動
- ・ 子育て家庭留学



## 中・長期的な視点で 継続して取り組む！

### ライフステージに応じた切れ目のない支援

#### 《ライフデザイン構築支援》

- 赤ちゃんふれあい感動！体験等事業
- 未来のパパ&ママを育てる出前講座等推進事業
- 結婚・子育てライフデザイン講座事業

#### 《妊娠・出産支援》

- 風しん抗体検査助成事業
- 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

#### 新おかやまママ安心サポート事業

#### 《子育て支援》

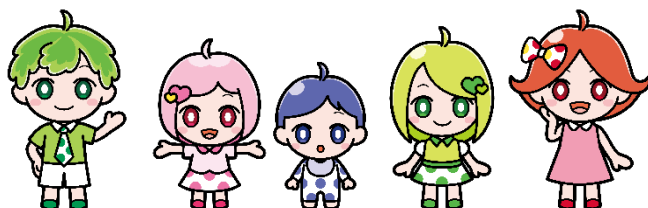
- ももっこカード利用促進事業
- 拡 おかやま子育て応援宣言企業活性化事業
- パパ・グランパ・グランマカアップ事業
- 地域の子育て応援事業

## 市町村との連携を密にして 課題に対応する！

- 拡 少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業
- 新 少子化分析市町村支援事業

## 今後5年間の計画 次期子どもプランを策定！

- 新 岡山いきいき子どもプラン2025(仮称)策定事業
- 新 子どもが主役プロジェクト



# 保育人材の確保

## <なり手(保育士)を増やす!>

- 新** 県内養成校と全面タイアップ  
**広域エリアでの就職面接会**  
3県民局単位での大規模な就職面接会を開催
- 新** 保育の魅力を伝達  
**イメージアップ広報**  
ICT活用等により働きやすい職場づくりが進む  
保育の現場を動画等で紹介
- 新** アピール効果を試行  
**保育士募集のエリア一括発信**  
市町村の保育士募集を県において発信
- 新** 新たな制度を活用  
**「地域限定保育士」の導入**  
国が全国展開を図る地域限定保育士制度をいち早く導入(※法改正を前提)

保育現場に

## <多様な人材を生かす!>

- 保育士の負担軽減
- ◆ 保育補助者等の配置支援**  
国補助制度を活用し、保育補助者(公立・私立)や保育支援者(私立)の配置経費を支援
- 新 公立保育施設への保育支援者の配置支援**  
単県事業として、公立保育施設への保育支援者配置経費を支援

## <引き続き取り組む~これまでの取組~>

- 保育士確保、就職・復職支援(マッチング、潜在保育士の掘り起こし、有償託児ボランティア等)
- 相談支援、現任保育士のフォロー(随時の相談対応、研修会等)
- 離職防止、職場環境改善(相談支援、管理者セミナー等)

市町村

連携強化

<連携体制の強化>  
課題共有・情報交換の場  
(県・市町村連絡会議の設置)

<体制強化>  
スタッフ 1名増員

保育士養成校(大学・短大)

連携強化

早いうちから

## <学生と園・地域との「つながり」をつくる!>

- 新** センターへの登録促進  
学生のうちから保育士・保育所支援センターへの登録を促進し、早期支援
- 新** 保育職場等体験ツアー  
学生を対象とする保育職場等見学会(保育の様子・園の方針、住まい等の地域の状況)
- 新** 保育職場インターンシップ助成  
インターンシップに係る費用助成(学生の旅費等)

## <頑張る保育士を応援する!>

- 新** 若手保育士の交流会  
若手保育士が悩み等を共有・相談できる場づくり

## <DXで職場環境を改善する!>

- 新** ICT機器導入支援  
保育現場で活用できるICT機器の見本市を開催
- 新** 個別実地相談指導  
保育現場の課題に応じた個別実地相談指導



課題

不安感

- 少子化や医師の働き方改革等により、地域によって従来の小児・周産期医療の提供体制が維持できなくなりつつある（医療資源の地域偏在・不足）
- 産前産後のメンタルヘルスケアなど多面的なサポートが必要
- 保健・医療・福祉分野の情報が散在し、母子が必要とする情報や支援が行き届かない

↓ 安心して産み育てる **環境** の整備が不可欠

ママに安心を届ける新たな取組

**限りある保健医療資源を有効に活用した新たな協働モデル構築**

- ライフステージごとの保健医療等を支える関係者で県協議会を創設  
→ 情報・課題の共有、連携、改善策の検討・検証
- 周産期医療提供体制のモデル構築を含め、ライフステージごとの課題を改善

分野をまたぐ  
課題の改善

おかやママ安心サポート県協議会【487（一財487）千円】

安心して出産  
できる地域体制

妊娠

妊娠～出産

◎安心・安全な妊娠・出産を支える産前産後のトータルケア

- ・産科医の偏在、分娩施設の廃業等に対応する持続的な**周産期医療提供体制のあり方の検討**
- ・**妊産婦のメンタルヘルスや分娩前の十分な情報提供**など安心して出産できる環境づくりの推進
- ・産後を支える市町村**産後ケア事業**の課題改善に向けた**実態調査、分析**【2,908（一財2,218）千円】

出産

出産～育児

◎子どもの健やかな成育のための予防活動（難聴児の早期発見・早期療育）

- ・難聴児の早期発見・早期療育促進のための**新生児聴覚検査機器の補助**  
【39,703（一財19,852）千円】

パパにも知ってほしい

育児

育児～

◎家庭の看護力強化、子どもの急病の不安緩和  
※継続【25,888千円】

- ・出前講座等による子どもの急な発熱やけが時の**応急処置等の知識の普及**
- ・小児科医と連携した**#8000**（小児救急電話相談）の**周知拡大**を通じた、パパ・ママの不安緩和、適正な救急医療の利用促進

成人

少子化社会に対応する地域モデル構築（二次保健医療圏など）

【11,834（一財6,834）千円】

- ・保健所、市町村及び医療関係者等による地域協議会の設置
- ・健診、分娩機能の分化・連携、遠隔診療
- ・助産師外来や院内助産等、助産師機能の活用拡大、タスクシフト/シェアの推進
- ・各種相談窓口の連携、ワンストップ化等により地域で支える体制を整備

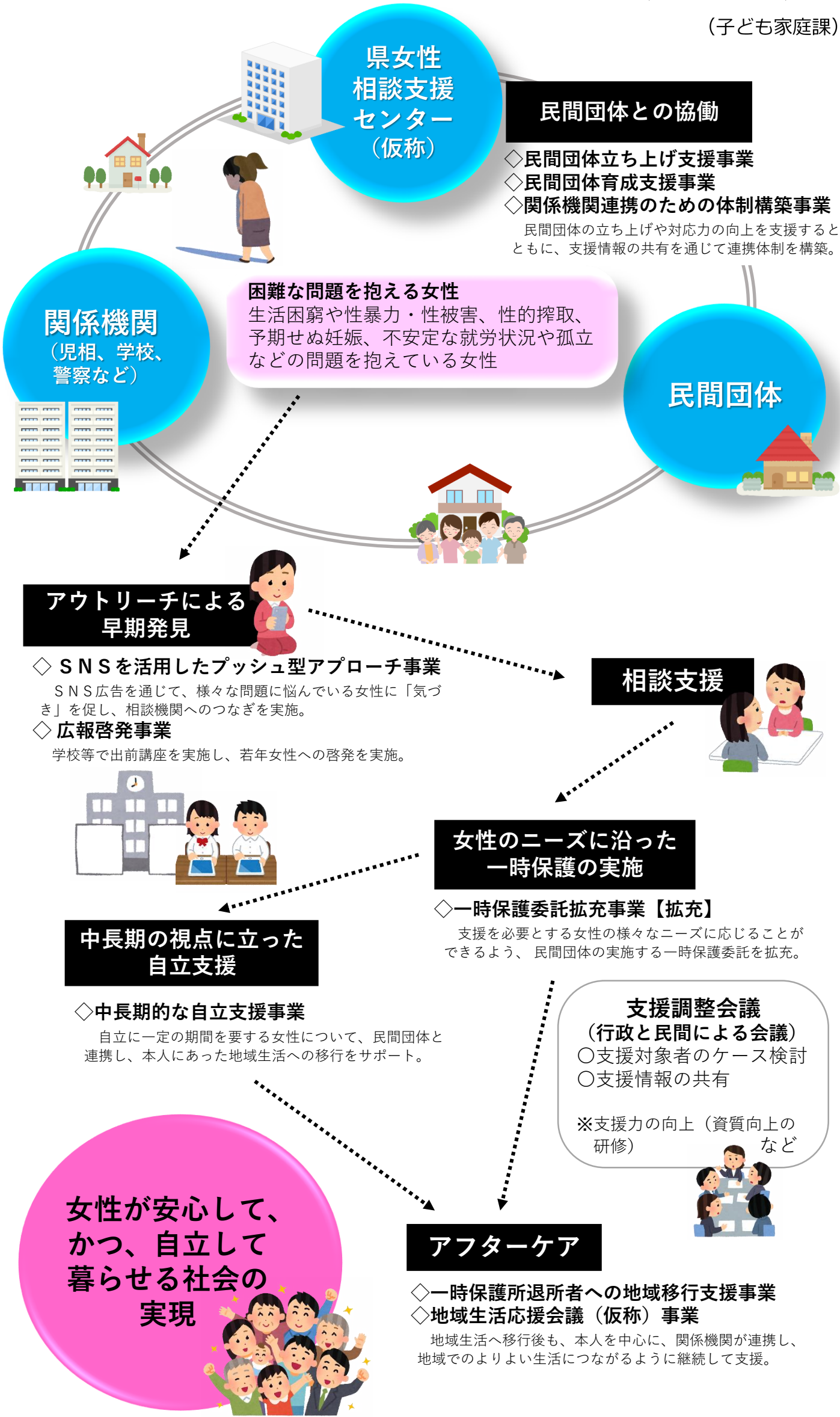
好事例を横展開



◎ライフステージごとの保健医療の諸課題を  
**オールおかやまで突破！！**

# 困難な問題を抱える女性支援事業（R6～R8）

（子ども家庭課）



# 子ども虐待防止総合強化事業（R6）

（子ども家庭課）

## 地域の相談支援体制の強化

## 児童相談所の体制強化

### ◇ 児童家庭支援センター運営事業

児童家庭支援センターが、地域における子ども・家族支援を担い、児童相談所の補完的役割を果たせるよう、運営費を補助

### ◇ 児童虐待対応強化事業【拡充】

増加の一途を辿る子ども虐待相談受付に対応するため、虐待の初期対応を補助する児童虐待対応協力員を1名増員

### ◇ 児童虐待防止等ネットワーク事業【拡充】

県要保護児童対策地域協議会に、里親の代表を加える等子どもを守る地域ネットワークを拡充

すべての子どもが  
安心して暮らせる  
環境づくり

子どもを中心とした  
県民意識の醸成

児童  
相談所

### ◇ 子ども虐待防止強化事業【拡充】

### ◇ 里親養育包括支援事業【拡充】

子どもを中心に、県民への権利擁護、虐待防止体罰禁止、ヤングケアラー、里親制度の周知啓発や支援者向け研修等の実施。

児童家庭  
支援  
センター

社会的養育の推進

### ◇ 社会的養育推進計画中間見直し事業【新規】

これまでの実績、国の要領を踏まえ、計画の評価・見直しを実施（R6中間見直し年度）

市町村

こども家庭センター

統括支援員の配置

児童  
福祉

母子  
保健

子ども家庭総合支援拠点

子育て世代包括支援センター

## 市町村の機能・体制強化

### ◇ 子育て世帯包括的支援体制強化事業【拡充】

#### ① 利用者支援事業（こども家庭センター型）【拡充】

こども家庭センターへの統括支援員の配置等運営費を補助

#### ② 子育て世帯訪問支援事業

ヤングケアラー等がいる家庭に家事・育児支援を行う訪問支援員の人件費等を補助

#### ③ 親子関係形成支援事業【新規】

関わり等に不安のある親子に、親子関係改善のためのペアレントトレーニング等を行う費用を補助

#### ④ 児童育成支援拠点事業

子どもの居場所の開設、食事の提供、子どもや保護者への相談支援等を行うための補助

#### ⑤ 子育て短期支援事業

ショートステイ等の専従職員を配置するための人件費等の補助

#### ⑥ 一時預かり事業

所得等に応じた利用者負担軽減を行えるように、減免相当額等を補助

## 重点事業調書

担当部局・課名		産業労働部労働雇用政策課、子ども・福祉部子ども未来課			
重点事業の名称		おかやま活躍支援事業			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅱ 地域を支える産業の振興 Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造			
	戦略プログラム	2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム 5 働く人応援プログラム 6 持続可能な中山間地域等形成プログラム			
	施策	5 <b>重点</b> 企業を支える産業人材の育成・確保 1 <b>重点</b> 若者の県内定着を進める就職支援 3 <b>重点</b> 意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進 6 <b>推進</b> 高齢者の就業支援 4 <b>重点</b> 移住・定住の促進			
第2期 創生 戦略	基本目標	2 つながりを築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる 3 持続的に発展できる経済力を確保する			
	対策	2 つながりを築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進(社会減対策) 3 地域の持続的発展のための経済力の確保			
	政策パッケージ	2-① 移住・定住の促進、2-② 若者の還流・定着 3-① 生産性向上の促進、3-③ 働き方改革の推進			
終期設定(年度)	R9	予算区分	一般	事項名	高齢者等雇用対策費、産業人材育成事業費、若年労働者等雇用対策費、子どもを健やかに生み育てる活動推進費
現状、課題 必要性	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働力人口の減少が見込まれる中、県内の新規求職者における高齢者の割合は3割を超えており、働きたいと考える高齢者は少なくない。</li> <li>技能士資格に対する企業の採用ニーズは高く、県内の工業高校では技能検定合格を目指した指導を実施している。</li> <li>県内大学新卒者の県内就職率は4割を超えているが、減少傾向にある。</li> <li>本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率は3割程度にとどまっている。</li> <li>誰もがライフステージに応じて能力を十分発揮でき、多様で柔軟な働き方が実現できる働きやすい環境づくりが求められている。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きたい高齢者は増加しているが、就職者数は伸び悩んでおり、人材を求める企業との間でミスマッチが生じている。</li> <li>技能検定は、令和4(2022)年度以降、在校生が国の減免制度の対象から外れ、他資格と比べて受検手数料が高額となったことから、高校生の受検者は令和3(2021)年度以前と比べて半減している。</li> <li>若者は岡山で働き続ける将来像がイメージしづらく、企業側は将来を担う若者の視点等を知りたい。</li> <li>岡山県の人口は転出超過となっており、20～30代の若者の転出が目立つ。</li> <li>働き方改革の必要性を感じながらも取組方法等がわからない企業が見受けられる。</li> </ul> <p><b>【必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きたい高齢者と人材を求める企業等とのマッチングを行う必要がある。</li> <li>高校生のキャリア形成はもとより、県内企業のニーズに対応するためにも、技能士資格を有する県内高校生を増やす必要がある。</li> <li>若者のキャリア形成の支援はもとより、企業の経営改善にもつながる取組として、若者と企業リーダーがお互いの意見等を知る機会が必要である。</li> <li>県外からの移住希望者への効果的なPR等が必要である。</li> <li>勤務間インターバルやテレワーク等の多様で柔軟な働き方を情報発信し、広く意識改革を図るとともに、具体的な取組を導入・定着させていく必要がある。</li> </ul>				
	事業内容	<p>1 <b>新規高齢者生涯現役サポート事業</b>《14,481千円》 終期：R8 働きたい高齢者と企業等とのマッチングを行う相談窓口を設置するほか、高齢者対象の就職相談会や技能講習会等を開催する。</p> <p>2 <b>新規高校生のものづくり技能取得支援事業</b>《3,045千円》 終期：R8 令和3(2021)年度から半減した受検者数を回復させ県内企業への就職を促進するため、県内高校生が受検する技能検定実技試験手数料の減免を行う。</p>			

	<p><b>3 新規若者と企業リーダーとの交流事業</b> 《7,367千円》 終期：R8          大学生や県内企業の若手社員等の若者と企業の経営者等が、働き方改革等の関心事項をテーマに意見交換等を行うとともに、その概要を県内企業等に周知する。</p> <p><b>4 拡充東京23区からのI J Uターン就職支援事業</b> 《120,730千円》          県内企業の求人を掲載したマッチングサイトを運営するとともに、東京23区からの移住者への移住支援金に加え、新たに東京圏の大学生の就職活動費の一部を支給する市町村を支援する。また、従業員への奨学金返還支援制度を設け、県とともにUターン就職等の促進に取り組む中小企業に対し、当該企業の負担額の一部を支援する。</p> <p><b>5 新規働きやすい・安心して子育てできる職場づくり応援事業（再掲）</b> （子ども・福祉部）</p> <p><b>(1) 経営者等の意識醸成推進事業</b>          経営者等が子育て支援に、より前向きに取り組む意識を醸成するため、シンポジウム等を実施する。</p> <p><b>(2) 企業版子育て支援情報展開事業</b>          子育て支援の取組が進んでいない企業を後押しするため、ポータルサイトや優良事例集（子ども・福祉部と共同作成）により、国や自治体の支援制度の情報提供や、優良事例の横展開を図る。</p> <p><b>(3) 子育て応援宣言企業等取組推進事業</b>          子育て支援に取り組んでいる企業の、さらなる取組推進のため、「子育て応援アワード」を創設するとともに、アドバンス企業のメリットや情報発信を強化する。</p>						
	事業の意図 効果等	<p><b>【意図】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の技能取得を支援することは、キャリア形成の意識づけに加え、県内就職の促進や入社後の定着に役立つ。</li> <li>・違う立場の視点や意見を知る機会を通じ、若者のキャリア形成、企業の経営改善等に役立つ。</li> <li>・I J Uターン就職の促進、県内企業の人材確保に役立つ。</li> <li>・多様で柔軟な働き方は、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい環境づくりに不可欠であり、年齢に関わりなく、誰もがライフステージに応じた能力を十分発揮できる社会につながる。</li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者をはじめとする多様な人材の還流や県内定着につながる。</li> <li>・労働者のワークエンゲージメントや企業の生産性が向上し、県内経済の活性化につながる。</li> </ul>					
		事業目標	事業	生き活き指標、重要業績評価指標(KPI) 等	現状値	目標値	差
2, 3, 4	生き活き	県内大学新卒者の県内就職率	43.1% (R4)	48.0% (R6)	4.9%		
		本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率	34.5% (R4)	39.0% (R6)	4.5%		
		県内大学工学系学生の県内就職率	35.6% (R4)	32.0% (R6)	△3.6% (R4達成)		
		移住相談件数	2,759件 (R4)	2,500件 (R6)	△259件 (R4達成)		
5	生き活き	1人当たり年間総実労働時間	1,728時間 (R4)	1,684時間 (R6)	44時間		
事業費の見積もり	区 分		R5 予算額	R6 予算要求額	R7 見込額	R8 見込額	R9 以降見込額
	事業費(単位：千円)		134,156	145,623	177,600	211,872	222,016
	財源内訳	国 庫	86,376	83,829	105,042	127,778	143,782
		起 債	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一 般 財 源		47,780	61,794	72,558	84,094	78,234	

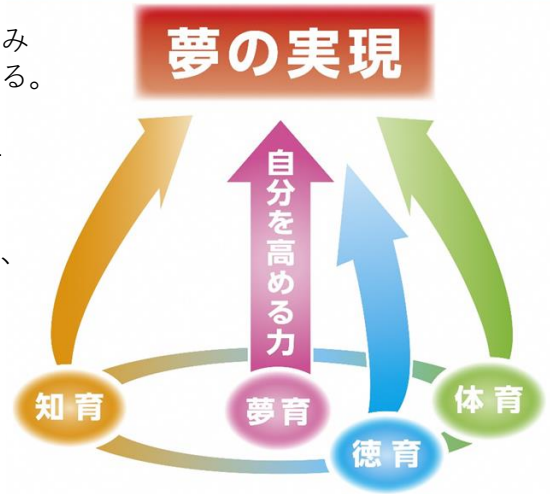
## 1 夢・夢育の考え方

(1) 夢：今はできないけれど、実現したいこと。

- 人生の目標となる大きな夢だけでなく、「今すぐやってみよう」と思い挑戦する身近な目標も、「夢」と位置付ける。

(2) 夢育：「夢」を育み、その実現に挑戦することで、「自分を高める力」を育む教育。

- 子どもたちが多様な経験や多くの人々との出会いの中で、自分からやってみたいと思える「夢」を見つけることを支援する。
- 「夢」の実現に向けて挑戦する経験を繰り返すことで、意欲や自信などの「自分を高める力」が生まれ、学びに主体的・積極的に取り組むようになることから、やがて「自分はどう生きたいのか」という自分の人生について考える取組にまでつなげる。
- 学校・家庭・地域が連携して推進する。



## 2 関連事業

事業名	R6事業費 (千円)
みんなでチャレンジランキング	348
【新】次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	8,215
夢に向かって世界に羽ばたけ！ 岡山の高校生応援事業	20,527
サイエンスチャレンジ	2,799
「科学オリンピックへの道」	514
スーパーサイエンスハイスクール事業	6,717
オンライン国際交流コーディネーター配置事業	1,305
グローバル・リーダー育成拠点構築事業	1,400
「君に届け！」夢への架け橋事業	5,951
おかやま夢発信・交流事業	946
岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業	1,901
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業	308

事業名	R6事業費 (千円)
特別支援学校技能検定	882
「学校部活動方針」実践推進事業	2,008
体カアップ・マイベストチャレンジ！	347
「部活動の地域移行」推進事業	12,800
おかやま子ども応援事業 (地域学校協働活動の推進等)	48,083
就学前の非認知能力育成支援事業	963
おかやま まなびとサーチ「夢育」 コンテンツ強化事業	2,844
【新】地域学校協働活動推進事業	5,662
夢育パートナーズ推進事業	238
学校における文化活動支援	7,240
生涯学習大学主催講座「きっず☆ユニバ」	3,050
コミュニティ・スクール導入促進のためのコン ソーシアム設置事業	1,719
【新】高校コーディネーターによる高校と地域と の連携・協働推進事業	17,124

※金額は予算要求額ベース

合計：153,891千円  
(R5：153,257千円)



就学前	小学校	中学校	高等学校
-----	-----	-----	------

夢育アドバイザーの派遣

就学前の  
非認知能力  
育成支援  
事業

「君に届け！」夢への架け橋事業

おかやま夢育イニシアチブ

おかやま夢発信・交流事業  
・ おかやま学びたい賞・フォーラム  
・ 「遠くとTALK」

課題解決型学習(PBL)の推進

次世代おかやま「夢育」ネット  
ワーク事業

夢に向かって世界に羽ばたけ！  
岡山の高校生応援事業

サイエンスチャレンジ

「科学オリンピックへの道」

おかやま☆子ども参観日

おかやま まなびとサーチ

きっず☆ユニバ

スーパーサイエンス  
ハイスクール事業

オンライン国際交流  
コーディネーター配置事業

グローバル・リーダー  
育成拠点構築事業

いきいき岡山っ子☆運動  
習慣カード

「部活動の地域移行」  
推進事業

高校コーディネーターによる高校  
と地域の連携・協働推進事業

みんなでチャレンジランキング

体力アップ・マイベストチャレンジ！

「学校部活動方針」実践推進事業

特別支援学校技能検定

コミュニティ・スクールの導入・推進

学校における文化活動支援

おかやま子ども応援事業（地域学校協働活動の推進等）

地域学校協働活動アドバイザーの派遣

夢育パートナーズによる体験活動の充実

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合  
 小6 61.1% 中3 41.6% (2022(R4))  
 → 小6 70.0% 中3 50.0% (2024(R6))

全国平均正答率との差(全国学力・学習状況調査)  
 小6 ▲1.0P 中3 ±0.0P (2022(R4))  
 → 小6 +1.0P 中3 +1.0P (2024(R6))

## 岡山型課題解決型学習(PBL)推進事業

- 「岡山型PBLガイドブック」に基づいた研究校における実践研究の実施

## おこやま夢発信・交流事業

- PBL等の取組を発信・オンラインで交流する場の提供

## 「君に届け！」夢への架け橋事業(夢ボイス)

- 各方面で活躍する方から子どもたちの夢への実現に向けたメッセージ動画の作成・発信

### 夢を育む教育・キャリア教育の推進

### 学びに向かう力・人間性等の涵養

## 確かな学力の育成

## 学ぶ意欲の向上

### 知識・技能の習得

### 思考力・判断力・表現力等の育成

### 主体的な学びの支援・充実

#### 主体的な学びの基盤づくり事業

- 放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習への支援員の配置

#### ICTを活用した指導の充実

- 「教科等におけるICT活用事例集」に基づいたICTを効果的に活用した授業の展開、好事例の普及

#### 家庭学習指導の推進

- 授業改革推進チームによる算数を中心とした家庭学習の取組の研究・実践、「家庭学習のスタンダード」改訂

### 教員の指導力向上

#### 授業改革推進チームの配置

- 高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を他校・地域に配置

#### 新 英語コミュニケーションスキル向上事業

- 中学校の英語授業の充実に向けた単元末のプロジェクト・ベースの言語活動の進め方の実践・研究

#### 新 Waku<sup>×</sup>2算数推進事業

- 大学教授や教員等と連携した算数の課題に対応した問題の作成、MEXCBTへの問題搭載

#### 定着状況ウォームアップ

- 小学校4～6年生の算数を対象とするCBT(Computer Based Testing)方式による短期の定着状況の確認

### 分析結果に基づく指導・支援

#### 新 多層的支援システム構築事業

- 大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づく対象を明確化した算数の指導・支援体制の構築

### 学力の定着状況の確認

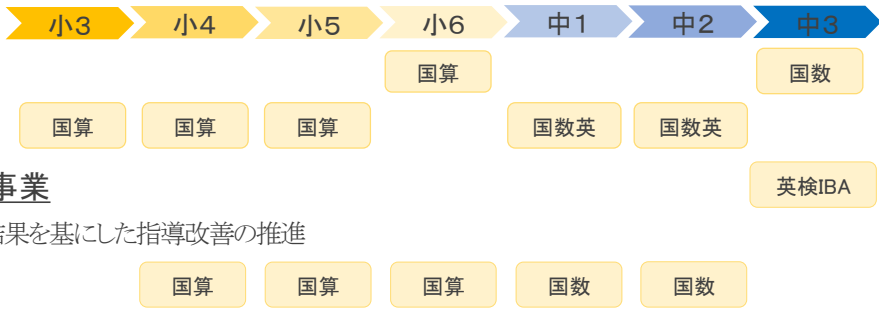
#### 全国学力・学習状況調査

#### 岡山県学力・学習状況調査

#### 新 英検IBAを活用した授業改善推進事業

- 中学校3年生が秋に受験する英検IBAの結果を基にした指導改善の推進

#### 学力定着状況確認テスト(CBT方式)



### 学校経営力の強化

#### 学校経営力向上支援事業

- 学校経営アドバイザー等が市町村教委と協働して県内全ての小・中学校等を年複数回訪問し、管理職のビジョンと戦略を支援



## になるには？



まずは、  
[syogai@pref.okayama.lg.jp](mailto:syogai@pref.okayama.lg.jp)へ  
ご連絡ください！



①右のQRコード®から  
「夢育パートナーズ説明動画」  
<https://youtu.be/6Hvn4ctv6nl>  
(約6分)をご覧ください。

②[syogai@pref.okayama.lg.jp](mailto:syogai@pref.okayama.lg.jp)宛に、メールにて、  
次の二点の情報をご提示ください。

- ①企業・団体等の情報  
(概要、ホームページのURL等)  
(例) ○○株式会社  
○○の製造をしています。  
HP：<https://www.xxxxxx.com>

1 1

②登録した際にご提供いただけるプログラムの  
概要について  
(例) ○○についてわかりやすく解説したり、  
○○について学ぶプログラム。

③必要な手続きのご案内をお送りいたします。  
いただいたメールへの返信で、登録についての  
詳細な案内をお送りいたします。



への登録は  
無料ですか？



登録には、一切お金はかか  
りません

企業・団体等の強みを生かしたりリアルな学びを学校でも地域でも

岡山県内の企業・各種団体の皆様、

子どもたちの夢を育むために、  
お力をお貸しください。

Future



(生涯学習課)



岡山県教育庁生涯学習課

2024年2月開始予定

岡山県教育庁生涯学習課  
ホームページ



お問合せは  
岡山県教育庁生涯学習課

☎ 086-226-7597

✉ [syogai@pref.okayama.lg.jp](mailto:syogai@pref.okayama.lg.jp)



とは…



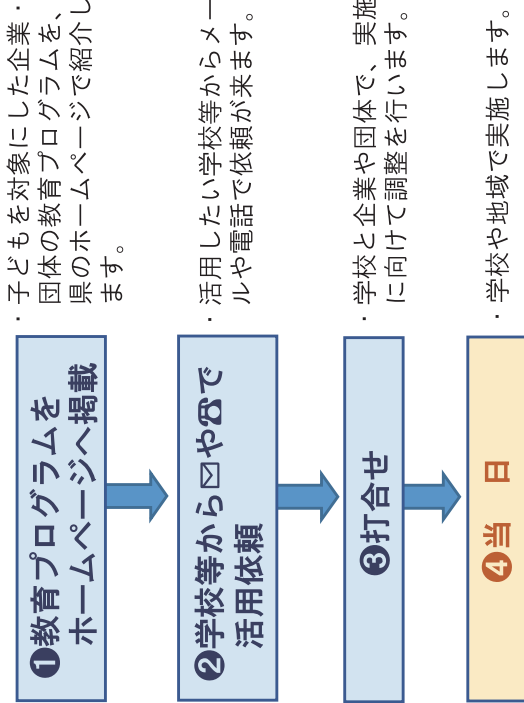
### 岡山県の子どものための「夢」を育む応援団

岡山県教育委員会では、平成24年度から「おかやま子ども応援人材バンク」として、県広域で教育活動を展開している企業や団体等を登録し、学びの応援団として、学校を中心に活動いただけてきました。この度、これをパワーアップさせ、岡山県の子どものための「夢」や「目標」を見つけてあげるきっかけづくりに御協力いただける企業や団体を「夢育パートナーズ」として登録し、学校や地域と連携し、子どもたちの豊かな体験活動のより一層の充実を目指します。

1 2



### に登録すると…



### にはどんな企業・団体が登録できるの？



子どもたちの学びの原動力である夢を育む教育（夢育）の推進に協力いただける、**どんな企業・団体でも登録頂けます！**

※ただし、「夢育パートナーズ」の趣旨に反する活動、販売促進や営利追求を目的とした活動等はお断りしています。



### にどんな教育プログラムを登録すれば良いですか？



子どもが体験できるプログラムであれば、どのようなものでも登録できます！

「夢育パートナーズ」では、それぞれの企業や団体を持っている、専門的な知識やノウハウ等を生かしたリアルな学びを学校や地域に届けていただくことにより、子どもたちの活動がさらに充実することをねらいとしています。

登録いただく教育プログラムは、子どもが体験できるプログラムであれば、どのようなものでも大丈夫です（※趣旨に反する活動、販売促進や営利追求を目的とした活動等は除く）。これまで「おかやま子ども応援人材バンク」に登録くださった企業・団体の方は、これまでと同じプログラムでも大丈夫です。

「夢育パートナーズ」では、子どもたちが夢をもち、その夢を形にしていけるために、プログラムを実施する際には、次の3点を意識いただければ幸いです。

### 子どもたちの夢を育てるための大人の関わりポイント

～「就学前の非認知能力で『いいところ』みつけ！』より～



#### ①子どもたちの良いところを見つける

子どもたちができていないところではなく、できているところを目を向けたり、ポジティブな見方をしたり、結果ではなくプロセスに目を向けたりして、良いところを見つけてみましょう。



#### ②見つけた良いところを子どもたちに伝える

見つけたことを子どもたちに伝えていただく、子どもたちはそのことをさらに「伸ばしたい！」と意識するようになります。



#### ③子どもたちが「やってみよう」という気持ちを持つようにする

企業や団体の皆様が持っている、専門的な知識やノウハウ等は、子どもたちにとっては非常に興味深く、子どもたちは自然と「やってみよう」「やってみよう」という気持ちを持ってくれます。ぜひ、積極的にそのような専門的な知識やノウハウ等を伝えていただきたいと思います。



### はいつから開始ですか？



2024年2月開始の予定です！

「夢育パートナーズ」は現在運用開始に向けて準備中です。運用開始は2024年2月の予定です。

# 女性のキャリア形成応援事業

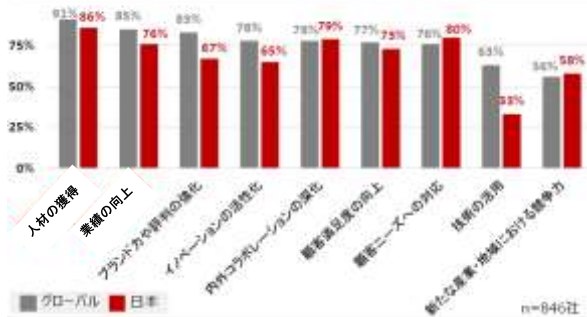
## 現状

### 女性活躍推進の背景

少子高齢化、グローバル競争の加速化などが進む中、企業には多様な人材による**ダイバーシティ経営の推進**が強く求められている。

### ダイバーシティ推進の大きな経営効果

経営者に対する調査 (ダイバーシティ経営戦略を有する企業)  
多様性の受容によって得られた恩恵は何か？



### 企業が女性管理職登用を考えてない理由



## 女性がキャリアを築く上での課題例

### 仕事と家庭の両立

例) 家事、育児等の女性への偏り

- 女性の家事育児時間は、共働きでも男性の3.4倍 (R5男女共同参画白書)

### 管理職等で活躍する女性ロールモデルの不在

例) ・ 職場は男性上司ばかりで、女性が活躍するイメージがもてない。  
 ・ 相談できる相手がいない。 等

### 女性が管理職となる場合の課題

例) 女性への偏見、男性部下との関係

### 女性特有の健康課題

例) 月経随伴症状、更年期障害 等

- 月経随伴症状(PMS)による労働損失は、4,911億円(経産省推計)
- 更年期症状のある女性の1/3が退職した又は退職を考えた(R7経産省フェムテック資料)

管理職なんてとても...



## 女性のキャリア形成応援

### <女性向け講座の実施(全4回)>

- |      |                   |                                    |
|------|-------------------|------------------------------------|
| テーマ例 | ● 仕事と家庭の両立手法      | 例) 両立に役立つ情報やマインドを学ぶ!               |
|      | ● 女性特有の健康課題への対応   | 例) 健康課題の正しい知識や対処方法、職場への伝え方を学ぶ!     |
|      | ● 女性管理職としての課題への対応 | 例) ジェンダーバイアスへの対処方法や男性部下との関わり方等を学ぶ! |
|      | ● ロールモデルの働き方を知る   | 例) 管理職等として活躍する女性の働き方からヒントを得る!      |



### ※オンデマンド配信

いつでも、どこでも、何度でも受講可能

◆ 予算 2,695千円 (一般財源 1,348千円)

### 女性活躍推進のメリット

- ◆ イノベーションの創出
- ◆ 多様で優秀な人材の確保、定着
- ◆ 生産性向上
- ◆ 企業価値向上

## 効果

- ◆ 女性活躍と経済成長の好循環の実現
- ◆ 誰もが自らの個性と能力を最大限に発揮できる男女共同参画社会の実現

# “男性育休が当たり前な社会へ” 男性育児休業取得等促進事業

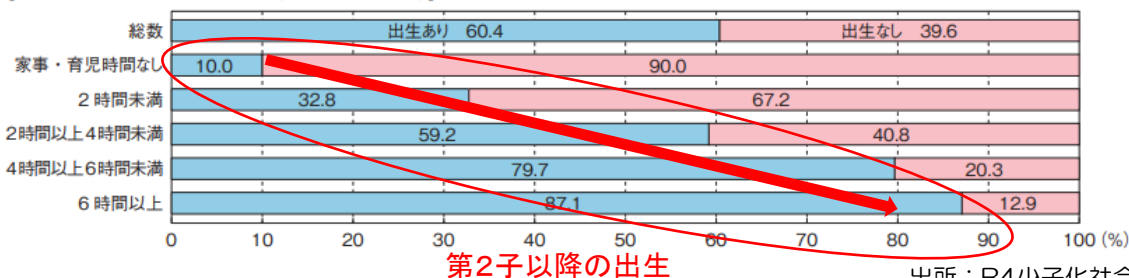
～働く女性の家事・育児負担の軽減による少子化対策～

(人権・男女共同参画課)

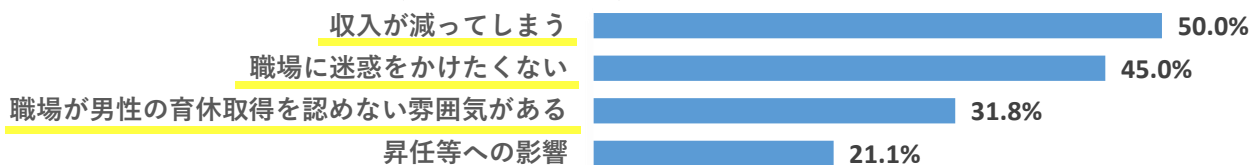
## 現状・課題

### ●夫の休日の家事・育児時間にみた第2子以降の出生の状況

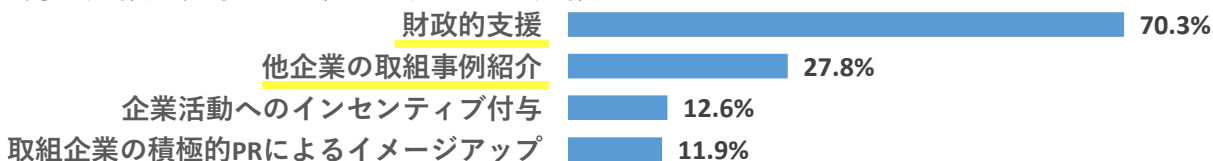
【13年間の第2子以降の出生の状況(平成14年成年者)】



### ●1か月以上の育児休業を取得しない理由(既婚20～30代男性)



### ●子育て支援に関する企業から行政への支援ニーズ



## 事業概要

### ■ねらい

- 初取得者の後押し
- 育休取得期間の長期化
- 組織風土の変革

### ■奨励金制度

- 支給対象 県内企業 ※大企業を含む
- 奨励金の種類
  - ・通算14日以上 of 育休取得 奨励金10万円
  - ・通算1か月以上 of 育休取得 奨励金20万円
 +同僚応援手当等加算10万円
- 年間の上限額 1企業あたり100万円
- 奨励金支給の主な要件
  - おかやま子育て応援宣言企業の登録
  - 経営層向けのセミナー受講

### ■事業費

93,056千円

### <参考> 育休取得促進に係る国の企業向け助成金 ※中小企業のみ対象

○出生時育休(産後パパ育休)  
連続5日以上 of 育休取得 20万円

○育休(男性・女性)  
連続3か月以上 of 育休取得 30万円

## 重点事業調査書

担当部局・課名		総務部総務学事課			
重点事業の名称		私立学校の安定的な経営のための私学助成拡充			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	I 教育県岡山の復活			
	戦略の方向	1 学ぶ力育成プログラム			
	施策	2 <b>重点</b> 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり			
第2期 創生 戦略	基本目標	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる			
	対策	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進(社会減対策)			
	課題パッケージ	2-③ 地方創生を担う人材の育成			
終期設定(年度)		予算区分	一般	事項名	私学助成費
現状、 課題、 必要性	<p><b>【現状】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 高校生等がいる低所得世帯の教科書費等の負担を軽減するため、国の補助制度を活用し、奨学のための給付金を支給している。</li> <li>2 私立学校の耐震化については、公立学校の耐震化率に比べ、私立学校の耐震化率が低い状況にある。</li> <li>3 国が、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制整備のための教員業務支援員の配置への補助制度を新設する。</li> <li>4 特別な支援が必要な幼児が、適切な教育が受けられない事態を未然に防ぐとともに、幼児期の子育て支援の充実の観点から、私立幼稚園等における受入れを支援している。</li> <li>5 日本私立学校振興・共済事業団補助金については、現在の補助率は6/1000である。</li> <li>6 授業等にICTを活用するケースが増加してきており、授業等の資料として様々な著作物を活用する場面が増えてきている。</li> </ol> <p><b>【課題・必要性】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業料以外の教育費を負担する奨学のための給付金制度において、R6年度から国の給付額が引き上げられるため、これに合わせて県の給付額も引き上げる必要がある。</li> <li>2 私立学校の耐震化は、法人負担が高額であることから進捗が低い状況にあり、生徒の安全で安心な教育環境を確保するためにも、県補助事業の補助限度額の引上げを継続する必要がある。</li> <li>3 国の制度新設に合わせ、私立学校の教育の質の向上を図るため、教員業務支援員の配置を推進する必要がある。</li> <li>4 障害児就園対策について、R6年度から国の補助要件が緩和されるため、これに合わせて県の補助要件も見直す必要がある。 特別な支援が必要な幼児数の補助基準 就園数2人 → 1人</li> <li>5 日本私立学校振興・共済事業団補助金の補助率は、私学教育の安定的運営のため、補助率を引き上げる必要がある。</li> <li>6 授業等において、著作物をインターネット送信で利用するにあたり、指定管理団体へ一定の補償金を支払うことで、個別の許諾を得ることなく利用できるよう、専修学校についても支援する必要がある。</li> </ol>				

事業内容	<p><b>1 拡充奨学のための給付金の給付額の拡充</b> 《267, 857 千円》  国の制度改正に合わせ、私立高校生等に対する奨学のための給付金の支給額を増額する。  ○支給額（年額）  ・非課税世帯 全日制等（第1子） 【R5年度】137,600円 → 【R6年度～】142,600円</p>																																					
	<p><b>2 私立学校耐震化促進事業補助制度の継続</b> 《85,400千円》  単県補助限度額の上限額引上げ（現行15,000千円）をR8年度まで継続し、耐震化を促進する。</p>																																					
	<p><b>3 新規教員業務支援員の推進</b> 《20,774千円》  国の制度新設に合わせ、私立学校の教員業務支援員の配置を支援する。</p>																																					
	<p><b>4 拡充障害児就園対策の拡充</b> 《61,936千円》  国の制度改正に合わせ、補助要件である障害児の就園数を引き下げる。</p>																																					
	<p><b>5 拡充日本私立学校振興・共済事業団補助金の拡充</b> 《92,961千円》  私学教職員の年金等給付（旧長期共済）事業の補助率を6/1000から7/1000に引き上げる。</p>																																					
	<p><b>6 新規授業目的公衆送信補償金制度に基づく補償金に対する私立専修学校への補助</b>  《3,000千円》  授業目的公衆送信補償金制度を活用する私立専修学校が支払う補償金に対する補助制度を新設する。</p>																																					
事業の意図、効果等	<p><b>【意図】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奨学のための給付金の県支給額を引き上げ、低所得世帯の負担軽減を図る。</li> <li>耐震化補助金の上限額を継続することで、私立高等学校等の施設の耐震化を促進する。</li> <li>教員業務支援員を配置することにより、教員の負担を軽減する。</li> <li>特別な支援が必要な幼児が就園している私立幼稚園等を支援する。</li> <li>私学教職員の年金等給付事業を支援することで、私立学校及び教職員の負担軽減を図る。</li> <li>専修学校におけるICTを活用した教育の推進と負担軽減を図る。</li> </ol> <p><b>【効果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>低所得世帯の高校生等の教科書費等の負担を軽減することで、就学の継続を支援できる。</li> <li>私立学校施設の耐震化を促すことにより、安全で安心な教育環境の整備が促進できる。</li> <li>教員業務支援員を配置して負担を軽減することにより、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力でき、教育の質の向上が図られる。</li> <li>特別な支援が必要な幼児への早期支援が図られる。</li> <li>私学経営の安定性の向上により、学校の健全な発展に資するとともに、安心して学ぶことができる環境を維持できる。</li> <li>専修学校におけるICTを活用した授業等を効率的・効果的に実施できる。</li> </ol>																																					
事業目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>生き生き指標、重要業績評価指標(KPI)等</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI)等	現状値	目標値	差																																
	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI)等	現状値	目標値	差																																	
事業費の見積もり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5 予算額</th> <th>R6 予算要求額</th> <th>R7 見込額</th> <th>R8 見込額</th> <th>R9 以降見込額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(単位：千円)</td> <td>467,979</td> <td>531,928</td> <td>531,928</td> <td>531,928</td> <td>511,928</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫</td> <td>118,834</td> <td>140,388</td> <td>140,388</td> <td>140,388</td> <td>140,388</td> </tr> <tr> <td>起債</td> <td>50,400</td> <td>50,400</td> <td>50,400</td> <td>50,400</td> <td>35,400</td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>298,745</td> <td>341,140</td> <td>341,140</td> <td>341,140</td> <td>336,140</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R5 予算額	R6 予算要求額	R7 見込額	R8 見込額	R9 以降見込額	事業費(単位：千円)	467,979	531,928	531,928	531,928	511,928	財源内訳	国庫	118,834	140,388	140,388	140,388	140,388	起債	50,400	50,400	50,400	50,400	35,400	その他特定財源						一般財源	298,745	341,140	341,140	341,140	336,140
	区分	R5 予算額	R6 予算要求額	R7 見込額	R8 見込額	R9 以降見込額																																
	事業費(単位：千円)	467,979	531,928	531,928	531,928	511,928																																
	財源内訳	国庫	118,834	140,388	140,388	140,388	140,388																															
		起債	50,400	50,400	50,400	50,400	35,400																															
その他特定財源																																						
一般財源		298,745	341,140	341,140	341,140	336,140																																